

大阪狭山市市民公益活動

促進補助金

交付申請書

NPO団体 グローバル・スクール

令和6年4月21日 鋸木大治

事業名 「歌の力」で高齢者の孤立、孤独をサポートする 「高齢者憩いの歌声広場」

事業の目的

高齢者が心身共に疲弊し、孤立、孤独を防ぐためにも、歌の力の継続が必要であり、市の補助金を活用してこの事業を継続することが、100歳時代を迎える時代になった今日、毎回参加されている、元気な高齢者も体力の限界、家族の介護、送迎などの問題があり、令和5年は市の補助金なしで運営しましたが、自己資金での運営は厳しい結果で終わりました。

事業の内容

スクリーンに映し出された、歌詞入りの大画像を見ながら、ピアノの生伴奏で文化庁選定の「日本の歌百選」と昭和・平成に流行した歌謡曲・抒情歌の名曲を歌が上手、下手に関係なく発声練習から始めますので、自分の声帯に合叩せて、楽しく声を出して全員で合唱します。

グローバル通信

シニアの歌声広場 <https://koreisyautagoe.seesaa.net/>

【4月13日に歌う曲】

～日本と世界の抒情歌&日本の歌百選～



♪ 春が来た	A- 15	♪ おお シャンゼリゼ	C- 13
♪ 牧場の朝	A- 16	♪ 故郷を離るる歌	C- 5
♪ 雨降りお月さん	A- 2	♪ 青春時代	C- 16
♪ 叱られて	A- 9	♪ こぎつね	C- 13
♪ ローレライ	C- 8	♪ 希望	C- 4

～心に残る思い出の歌謡曲&日本の歌百選～

♪ 南国土佐を後にして	B- 18	♪ 月がとつても青いから	B- 35
♪ 古城	B- 19	♪ 東京キッド	B- 44
♪ たそがれの銀座	B- 40	♪ みかんの花咲く丘	A- 16
♪ 恋のバカンス	B- 38	♪ 高校三年生	A- 7
♪ 長崎の鐘	B- 39	♪ 花は咲く	A-

☆故郷を離るる歌

吉丸一昌著『新作唱歌第5集』大正2年に合唱曲として掲載された。原題は「最後の夕」(Der letzte Abend)。プレスを取るのがなかなか難しい曲であるが、発表されるとその美しいメロディーが好まれ、女子学生たちに愛唱されるようになった。懐かしい故郷を去ってゆく悲しさが歌われている。

☆ローレライ

抒情詩人ハイネの原詩に、口語体で見事な名訳がほどこされたこの曲は、全て外国曲の女声3部で構成された女声唱歌、明治42年に掲載されたものである。ローレライは“妖女の岩”の意。ライン河中流にそびえる巨岩の上に憩う妖女の歌声に魅せられた舟人が、舟もろともに沈むという伝説による。

☆南国土佐を後にして

昭和34年の大ヒット曲。この歌のヒットには、テレビ普及の歴史が密接に絡んでいます。昭和33年暮れ、NHK高知放送局の開局を記念して、高橋圭三司会の歌番組「歌の広場」が放送されました。そのなかでジャズ歌手・ペギー葉山が歌った「南国土佐を後にして」が大反響を呼び、受像器の大普及に乗って空前のヒットとなったのです。テレビの急速な普及にも表れているように、このころから高度経済成長が始まり、多くの人びとが先行きに明るい見通しをもつようになりました。おそらく、そうした世相に、ペギー葉山のカラッと歌唱がアピールしたのでしょう。

☆古城

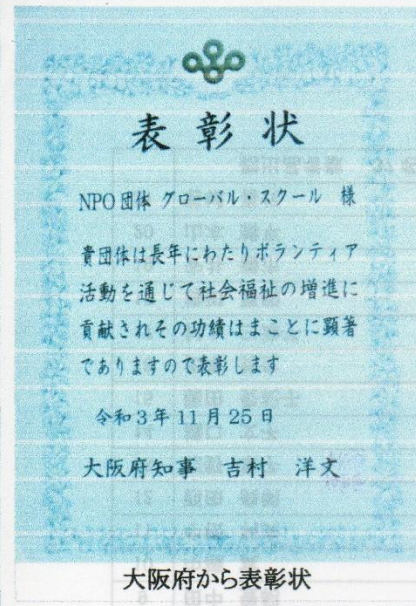
昭和34年 三橋美智也のヒット曲。古城にその無常観を見る歌詞は、土井晩翠作詞・滝廉太郎作曲の名曲「荒城の月」を彷彿とさせるものと言える。それに和風のメロディーや三橋美智也の伸びのある高音が古城に見られる物悲しさを巧みに表現し、戦後の日本人の間で大いに共感を呼び大ヒット曲となった。

☆長崎の鐘

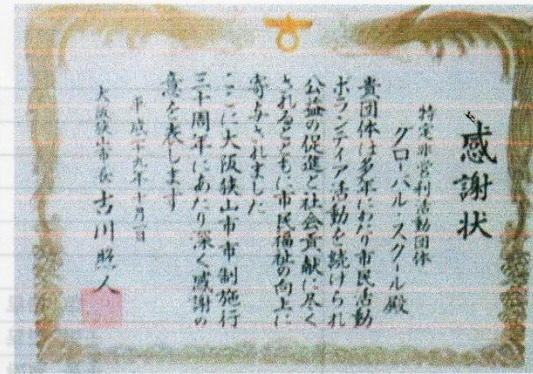
自分も原爆に被爆しながら献身的に被害者の救護にあたり、病床に斃れてからも、平和を希求する多くの著書を書き続けた長崎医大教授・永井隆博士について歌った歌です。「長崎の鐘」という歌との関わりですが、これは、永井隆と親交のあった医学博士・式場隆三郎が、昭和24年にコロムビアレコードに働きかけたことによって実現したものと伝えられています。サトウハチローも古関裕而も、数多くのヒット曲もっていますが、あえて1曲に絞るとすると、世間に与えた感動の大きさという点で、この曲が最高傑作といつてよいのではないのでしょうか。

☆恋のバカンス

昭和38年4月に発表されたザ・ピーナッツのオリジナルソングによるヒット曲。ジャズの4ビートを生かした、歌謡曲としてはかつて無かった程のスウィング感に満ち溢れた楽曲で、シングル発売直後より話題となり、ザ・ピーナッツの曲の中では定番曲の一つとして、現在でも茶の間での知名度も大きく各世代間で親しまれている。

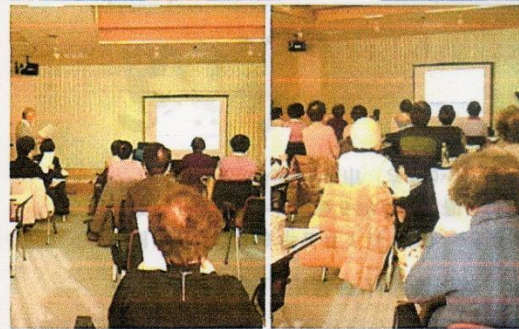
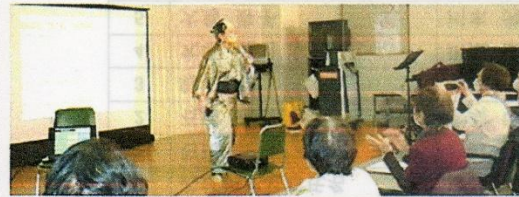


大阪府から表彰状

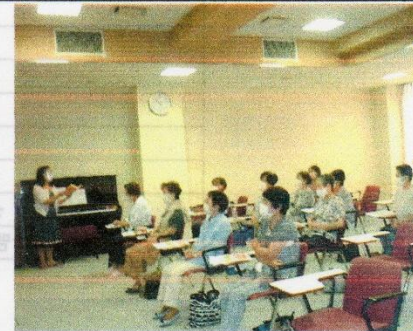


大阪狭山市から表彰状

【シニアの歌声広場】



コロナ禍の感染予防した歌声広場



コロナ禍の感染予防した歌声広場



コロナ禍前の歌声広場

80歳からの歌声広場

コロナ禍で疲弊した高齢者の孤立・孤独を歌の力でサポートします。

とき 14日(土)・28日(土)午前10時～午後0時 ところ 市立コミュニティセンター・音楽室 対象 市内に住んでいるおおむね80歳以上の人 内容 ピアノの生演奏に合わせてスクリーンを見な

がら、日本の歌百選、昭和の歌謡曲と抒情歌などを楽しく歌う
参加費、1回1000円 定員
いずれも10人(先着順) 申し込み
み 電話またはファクシミリで
グローバル・スクール(けんのき 鍛木)・
FAX 36517115)
問い合わせ ボランティアセン
ター ☎ 36716601

80歳からの「歌声ひろば」

狭山のコミセン 歌で孤独化をサポート



。楽しく歌うことで高齢者の孤立・孤独をサポートしたい」と活動する「80歳からの歌声広場」。主催は、鍛木大治さん(77歳・山本北)。懐かしの歌謡曲や抒情歌を、生ピアノの伴奏に合わせて、参加者全員で歌う。誰でも気軽に歌えるよう、椅子に座ったまま、前方のスクリーンに映し出される歌詞や、配布される冊子を見ながら歌えるのも特徴だ。コロナ禍にあっても、会場の大阪狭山コミュニティセンターが開館している限り活動を続けてきた。参加者が少ない時も、「高齢者の人の孤独を少しでも軽減できるよう、家を出て人と触れ合いが持てる場を作りた

い」との思いを貫いてきた。取材日は、「南国土佐を後にして『赤い靴』恋のバカンス』『雪の降る町を』など、20曲を歌唱。司会の中村さつきさんの楽しいトークに、どつと笑いがおきるなど、とても楽しい雰囲気だ。休憩時間には、中村さんとピアノの湯浅真由美さんによる、南京玉すだれも披露され、会場は笑い声と拍手に包まれた。「ここに来て歌うと気持ちがスッキリする」「暗い気持ちだったが、元

気になった」と参加者。高齢者が参加しやすいよう「80歳からの」と冠しているが、何歳からでも参加OK。毎月、第2・第4

上曜、10時～12時。大阪狭山コミュニティセンター3階音楽室で。参加費は1回千円。問い合わせは鍛木さん090・7880・4493

(山本こ)



編集・発行

大阪狭山市ボランティアセンター

大阪狭山市今熊1丁目85番地

TEL 072-367-6601

FAX 072-366-7407

NPO 団体 グローバル・スクール主催 「70歳からの高齢者憩いの歌声広場」



ピアノの生伴奏で文化庁選定の「日本の歌百選」と昭和、平成に流行した歌謡曲、抒情歌の名曲を発声練習からスタートし、自分の声帯に合わせて全員で楽しく歌います！

※問い合わせは、グローバル・スクール ケンノキ 鈿木まで

TEL・FAX：072-365-7115

090-7880-4493

【日 時】 10月14日(土)・28日(土)
10:00~12:00

【会 場】 大阪狭山市立コミュニティーセンター 音楽室

【対 象 者】 70歳以上の方

【参 加 費】 ￥1,000/回 入会費￥1,000/初回

【定 員】 先着10名

高齢者憩いの歌声広場

～歌の力でシニアの心をいやす～

懐かしい昭和・平成の名曲を生演奏で歌う

令和6年(2024)

3月23日

(土)

13:30～15:30

参加者
募集中

大阪狭山市SAYAKAホール
コンベンションホール B1F

参加費 1,000円

～ 練習会場・日時 ～

会場 大阪狭山市立コミュニティセンター

日時 第2・第4土曜日 午前10時～12時

参加人数 先着50名

参加費 1,000円/入会金 1,000円/初回



～ 申し込み・問い合わせ ～

NPO団体 グローバル・スクール

協力 大阪狭山市社会福祉協議会

携帯電話 090-7880-4493



プログラム

♪ 高齢者憩いの歌声広場 ♪ ～思い出の昭和と平成の名曲を歌う～

♪ オープニング

桜咲く国、東京ブギウギ 先生方全員が参加

♪ 美しい日本の四季

早春賦
夏の思い出
里の秋
雪の降る町を

ピアノ伴奏 北村恵美子
ソングリーダー 湯浅真由美

♪ 友情出演 バンド演奏

高校生バンドAid 僕に彼女ができたんだ
3カ国合同バンド クローバー マイウエイ
ダイヤモンドヘッド

オカリナ演奏 奥野彰子
ハナミズキ

♪ 北村恵美子独唱 ピアノ伴奏 奥野彰子

夢のあとに フォーレ
サルビア 中田善直

♪ 懐かしい昭和の歌謡曲 【日本レコード大賞受賞曲】

いつでも夢を
ブルー・シャトウ
誰よりも君を愛す
雨の慕情

ピアノ伴奏 湯浅真由美
ソングリーダー 北村恵美子

♪ 戦前・戦後にヒットした流行歌

青い山脈
この世の花
白い花の咲く頃
川の流れのように

ピアノ伴奏 北村恵美子
ソングリーダー 湯浅真由美

♪ フィナーレ

上を向いて歩こう
故郷
今日の日はさようなら

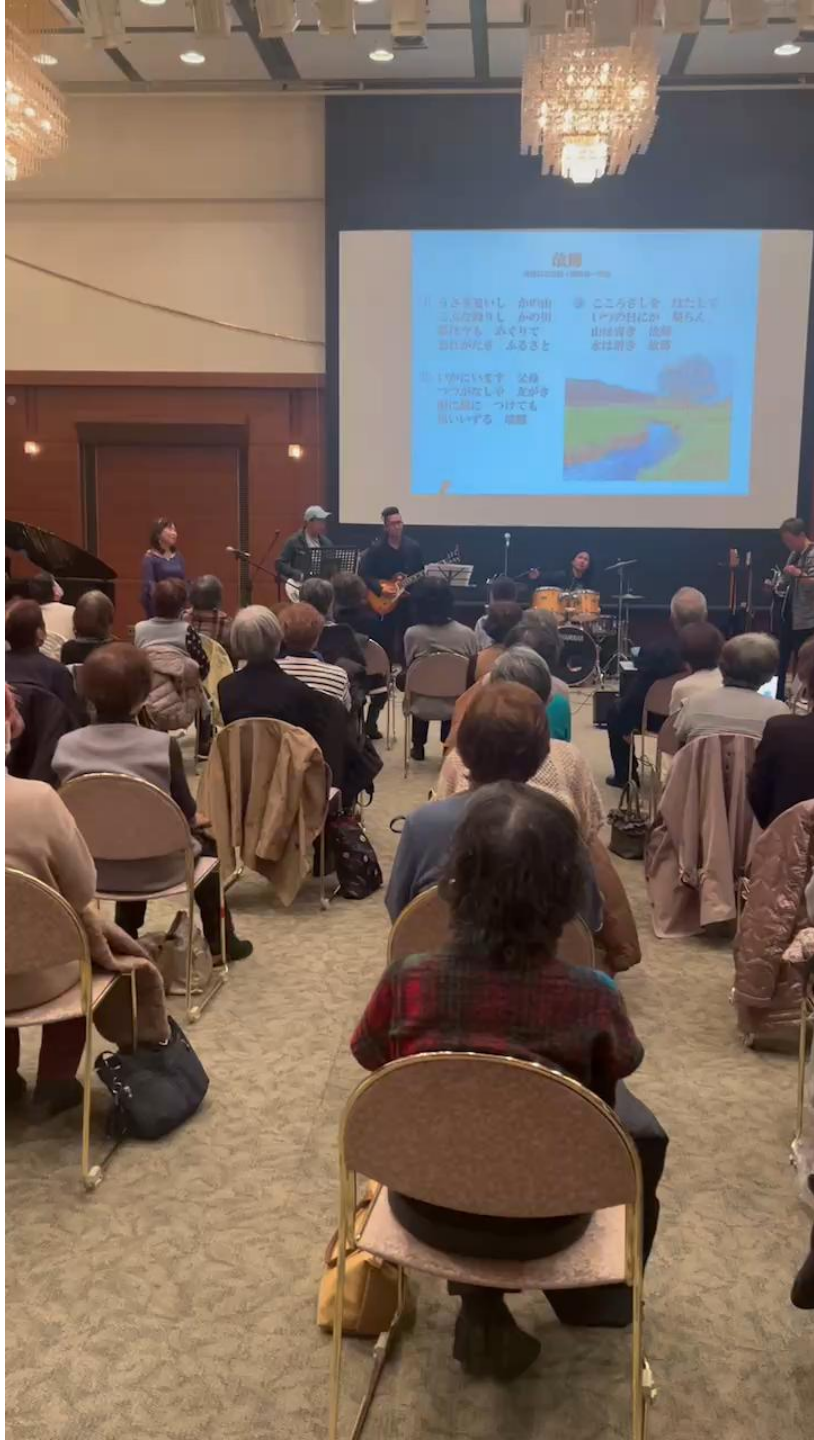
ピアノ伴奏 湯浅真由美
ソングリーダー 北村恵美子

司会 中村 さつき

日時 令和6年3月23日 13時開場 13:30開演
会場 さやかホール コンベンションホール



主催 NPO団体 グローバル・スクール
携帯 090-7880-4493



ご清聴ありがとうございました

NPO団体 グローバル・スクール